

地域おこし協力隊便り



地域おこし協力隊の吉浜知輝です。私は「複業」など多様な関わり方による関係人口創出事業をテーマに活動しています。今回は「働き方」と「地域おこし協力隊のロゴ」の紹介です。

宮古市地域おこし協力隊
フェイスブックページで
情報発信中！

<https://www.facebook.com/miyako.chikokoshin/>



第9回 吉浜知輝さん

働き方改革やリモートワークの推奨など「働き方」が今大きな変化を遂げています。私自身も、宮古市と都内を行き来しながら仕事を掛け持つ「2拠点複業」という働き方を実践してきました。今回はまず、2拠点複業で働き始めた経緯と地域おこし協力隊として働くこうと思った理由について、書きたいと思います。



5月号の「クローズアップ」でも紹介させていただいたように、私はアメリカに1年間留学し、現地の高校を卒業しました。愛着のある宮古で働きたい思いはありつつ、アメリカで多様な価値観に触れ、「どうやってこれらのキャリアや

スキルを積んでいこうか」と、10年後、自分が働く姿を想像できませんでした。そこで、「新しい働き方」にチャレンジする事で道筋が見えてくるのではないかと思ひ、2拠点複業という選択をしました。また、自分自身が先駆けとなり取り組むことで「自分のような働き方や、地域への多様な関わり方を提案することができるとはなにか。そして、少しでも宮古市の人材不足の解消につながっていけばうれしい。新しい働き方の経験を活かして宮古市に貢献したい」と思ひ、地域おこし協力隊に応募しました。

次に、地域おこし協力隊のロゴを紹介したいと思います。知り合いの宮古市出身のデザイナーの山根冬弥さんにロゴマークを作ってもらいました。デザイナーのポイントは、文字の一部に鮭ヶ崎灯台・波・浮き輪・鮭(上り鮭)をあしらひ、宮古らしさを表現したこと、灯台の灯りのように水平線の彼方まで照らされるような光をイメージした配色です。ロゴに負けないよう、地域のこれからの光を照らせるように頑張ります!!



スタジオから

あっという間に夏も過ぎ去り、過ごしやすい季節がやってきました。皆さんいかがお過ごしですか？

今回はみやこハーバーラジオと室蘭の中継コーナーについてご紹介します。

朝の生放送「おはよう潮風ラジオ」(午前7時～9時)の毎週月曜日午前8時40分ごろから、北海道室蘭市のコミュニティFMラジオ局『FMびゅー』と電話をつないでお互いの街の情報を交換しています。

以前は「フェリーDE室蘭!」という番組でもお話を伺っていましたが、番組が終了したあとも“海を隔てた隣町”として繋がってきました。

宮古市は三陸沿岸道路や宮古盛岡横断道路の開通区間が増えています。宮古を取り巻くイン

フラの状況が進むことは、宮古室蘭航路の早期再開の追い風になると思っています。

航路再開を心待ちに、皆室蘭にはたくさんの観光スポットがあります。オを通じて室蘭市や北海道の情報をお聴きください。



- 「みやこハーバーラジオ」放送中!
FMラジオ 【82.6MHz】
- インターネットの「リスラジ(ListenRadio)」やサイマルラジオでもお聴きいただけます。
- ※川井地域は川井テレビ(11ch)で放送中です
- お便り・ファクス・メールお待ちしております
〒027-0076 栄町3の35 キャトル4階
みやこハーバーラジオ宛て
FAX 77-3936 ☎826@miyakofm.com
- 問い合わせ 宮古エフエム放送 (☎77-3399)

第20回特別企画展の紹介

「縄文アニマル図鑑～縄文人と動物の関わり～」

市教育委員会文化課 編

縄文時代にはイノシシやシカといった現存している動物や、ニホンオオカミのような絶滅した動物など、数多くの動物が生息していました。

例えば、皆さんもよく知っているイヌは人類初めての家畜といわれ、縄文時代早期（1万1500年～7500年前ごろ）の遺跡に出土例が見られます。

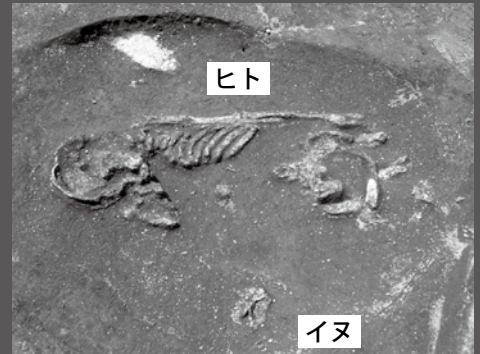
当時、シカやイノシシを中心に狩猟を行っており、イヌは狩猟犬として活躍し、ヒトと密接な関係にありました。

出土するイヌの骨には、骨折が治癒したあとが見られることがあり、縄文人はイヌを大切に飼っていたことが分かります。

また、宮古市近内中村遺跡^{ちかないなかむら いせき}では、イヌとヒトと一緒に埋葬された例があり、イヌと縄文人の間には特別な関係が生まれていたことが見て取れます。

今回の特別企画展は、縄文人と動物の関係を見ていく展

示企画となっています。今回紹介したイヌのほか、イノシシ、シカといった動物の紹介、動物の牙や人の歯を使った垂飾品など、宮古市や県内から出土した遺物を見ることができます。この展示を通して、縄文人と動物の関わりに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



近内中村遺跡で発掘されたヒト、イヌの合葬墓
企画展は9月27日(日)までです。

市長のひとり言

新型コロナウイルス感染症が全国的な広がりを見せてから、およそ半年が経過しました。医療従事者をはじめ、新型コロナウイルス対策の最前線で働いている関係者の皆さまに対し、敬意と感謝を申し上げます。

7月29日に、宮古市内で初の新型コロナウイルス感染者1名が確認されました。市では県と連携し、速やかに濃厚接触者へのPCR検査を実施するなど、感染拡大防止に全力で取り組んできました。既に感染者は退院し、8月20日現在、市内感染者数はゼロとなっています。

他地域との人の行き来が行われている以上、感染者の発生は、完全に防ぎきれものではないと思っています。大切なことは、毎日の体温測定・手洗いうがいの実施・人がいる場所でのマスク着用・三密を避けたコミュニケーションといった、基本的な感染予防の取り組みを徹底して行うこと。そして、感染者が出たとしても、本人やその家族、医療従事者などへの誹謗中傷や、憶測による情報の拡散といった行為を絶対に行わない“思いやりの心”を持つことだと思います。

新型コロナウイルス感染症への対応は、息の長い取り組みが必要となってきました。「宮古市民 ワンチーム」一致団結して、この危機を乗り越えてまいりましょう。



7月29・30日に臨時記者会見を開き、感染者の状況を説明する山本市長（写真は30日）

俳句に親しむ

季題「青蜜柑」「天の川」

さいとう白沙

【特選】

余生とは淋しきゆとり天の川

大越貞子

評||悠久の銀河を仰ぎ、いつしか
孤高の境地にいざなわれてゆ
く作者。取り合わせの妙が目
を引きます。

絵手紙に描かれて香る青蜜柑

松崎光子

評||上手に描かれた絵から漂って
くる青蜜柑の香り。残暑見舞
いの1枚でしょうか。

【入選】

短冊に本気の願い天の川

大森和子

青蜜柑いつしか過ぎる反抗期

川崎みちえ

酒場の灯消えてひろがる天の川

久保田利幸

お料理のあしらいに添え青蜜柑

坂下由美子

天の川せせらぎの音聴きたしよ

葛 敬一

青蜜柑ひとつ転がるエコバッグ

中屋京子

静岡の友より箱の青蜜柑

山崎新平

星あつめ教えてみよう天の川

(小3) 渡邊征一郎

◆次の季題「新酒」「林檎」※9月7日(月)必着

◆応募は一人3句までです。◆いただいた句を添削することがあります。◆はがきまたは封書で、句のほかに住所・氏名、ふりがな、電話番号を書いて、〒027-8501(住所不要)宮古市役所「広報みやこ」係へ応募してください。◆今回の投稿者は29人でした。ありがとうございました。

【選者より】○歳時記を参考にし傍題も活用して下さい。
○小中高生の応募歓迎。学年明記、他は一般に準じます。
◇選者詠「コロナ禍のマスク登校ねこじゃらし 白沙」